

知ろう、乳がん。 受けよう、検診。

乳がんの発症率は40～50歳代がピークですが、早期発見・早期治療により、9割以上は治るといわれています。今回は、防府市乳がん検診読影委員会の3名の先生に、乳がんについてお聞きしました。



IV期	III期	II期	I期	0期 <small>ゼロ</small>
他の臓器に転移している。	しこりが大きくなり、胸壁への固定が見られる場合も。皮膚のむくみや崩れ、しこりが現れる。	腋の下のリンパ節に転移がある場合も。 2～5cmのしこり。	2cm以内のしこり。 腋の下のリンパ節に転移していない状態。	腫瘍を形成する前の段階。しこりがなく、発生した乳管の中に留まっている状態。

います。

◆**乳がんの進行度**
0期～I期の段階で発見・治療することで、9割以上の方が治癒しています。

◆**乳がんの特徴・治療**
乳腺にできるがんを「乳がん」と言います。
乳がんは、他のがんと異なり、発見しやすく、治療効果の高いがんです。
治療は、乳がんの性質や転移の状況を見て、手術、放射線、抗がん剤、ホルモン剤の服薬等を組み合わせで行います。最近では、早期に発見できれば、乳房を残せることが多くなりました。

◆**乳がん検診**
市の乳がん集団検診は、マンモグラフィ検査を行います。（医療機関検診は医師の判断で視触診も実施）
マンモグラフィ検査を定期的に受診することで、「しこり」になる前のDCIS（非浸潤性乳管がん）を見つけることができます。
この段階（0期）で発見・治療をすることができれば、乳がんの再発はほぼありません。
早期発見、早期治療のために、ぜひ乳がん検診を習慣づけましょう。
ただし、「しこり」などすでに症状がある人は、検診を受けるのではなく、乳腺外科を受診してください。



▲市が実施している乳がん集団検診は、マンモグラフィ検診車で女性の技師が撮影しています。

防府市で乳がん検診を受けるには…

◆**集団（検診車）検診**

乳がん検診 (単独)	10月10日、12月12日、 令和2年1月16日、2月13日、 3月12日【いずれも木曜(午後)】 休日診療所【市保健センター横】
	乳がん検診 (総合がん検診)
	11月16日(土)午前 保健センター

◆**医療機関検診** (要電話予約)

実施医療機関	おがさまきレディースクリニック (大字植松・☎26-1107)
	三田尻病院 (お茶屋町・☎22-1173)
	県立総合医療センター (大字大崎・☎22-4411)

☒ 職場等で検診機会のない **40歳以上の女性**

(平成30年度に市の乳がん検診を受けていない人)

☒ マンモグラフィ検査(医療機関検診のみ視触診は医師の判断により実施)

料 2,100円 持 平成31年度がん検診等受診はがき

問 健やかほうふ21計画(第二次)推進委員会事務局

【市保健センター・☎24-2161】

0期のがんは 検診で見つかりません！

近年、乳がんは30〜40歳代女性の発見率が急増しており、日本人女性の11人に1人が乳がんと診断されています。

食生活の欧米化が原因の一つだと考えられており、今後、その割合はさらに増加するでしょう。

そこで、できるだけ0期（腫瘍を形成する前の段階）でがんを発見し、早期治療をすることが大切です。

0期のがんは検診で見つかりません。早期発見・早期治療をすることで、もし、乳がんになったとしても、身体的、精神的、そして経済的にも負担を軽減できると思います。

そのためには、やはり日頃からの定期的な検診が大切ですね。



防府市乳がん検診
読影委員長
県立総合医療センター
野島 真治 医師

自分の大切な命のためー

「恥ずかしがらず」、
「怖がらず」に検診を。

女性にとつて、検診であっても、胸を見せることはとても『恥ずかしい』ことだと思います。また、乳がん検診には『痛い』というイメージもつきものです。

市の乳がん検診で行うマンモグラフィには、触知不能な早期のがんを見つけるといふ優れた機能があります。胸を薄くのぼして撮影をすることが、より多くのがんをみつけることにつながりますし、被曝量を軽減することにもなります。短時間で終わりますので、恐れずに検診を受けていただけたらと思います。

また、必ずしも、しこりⅡがんではありません。必要な検査をして医師がフォローアップしていきますので、一人で悩まないでください。



防府市乳がん検診
読影委員長
三田尻病院
豊田 秀二 医師

一に健康、二に健康

私も乳がん検診を定期的に
受けていますよ！

乳がんは女性であれば、誰しも発症する可能性のある病気です。だからこそ、私も定期的に検診を受けています。乳がんは、定期的に検診を受ければ発見しやすいがんの一つに挙げられています。このことを皆さんに知っていただき、ご自分の健康を守っていただきたいと思っています。

検診を受ける時間がない人もおられるかもしれませんが、健康の上で生活が成り立っています。

ぜひ、検診のための時間を作ってほしいですね。

検診では、乳房や乳腺の状態、がんの家族歴などに応じ、エコー検査を勧められることがあります。ご自分に必要な検査を、医師と相談しながら受けるようにしてください。



防府市乳がん検診
読影委員長
おがさまきレディースクリニック
小笠 麻紀 医師

防府リボンの会

（乳がん患者とその家族の会）

参加者の方のお話をお聞きし、お悩み相談や他の相談窓口のご紹介を行っています。

事前申し込みは不要です。で、お気軽にお立ち寄りください。

時 毎月第4水曜

午後1時30分〜3時30分

所 文化福祉会館

問 宿谷 三恵子さん

（☎090-4427-9485）

平川 俊子さん

（☎090-6417-7708）



乳がん検診読影委員会

防府市の乳がん検診（医療機関受診）を受けられた方のフィルム読影については、複数の医師がダブルチェックを行っています。このような検診体制を取っている自治体は県内では珍しく、勉強会を行い、がんの早期発見に日々努めています。